

**コメント**

**1. インフルエンザ**

定点当たり19.5人と、前週と比べて約2.6倍に急増し、注意報レベル(定点当たり10.0人)を超えました。

また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は14件の報告があり、今シーズン累計は29件となりました。

なお、第51週の市内の基幹病院2か所による迅速診断結果では、A型陽性が232人、B型陽性が57人報告されています。

今後、さらに流行が拡大する可能性があり、注意が必要です。手洗いや咳エチケットの励行、適度な湿度(50～60%)の保持など感染予防対策を徹底しましょう。

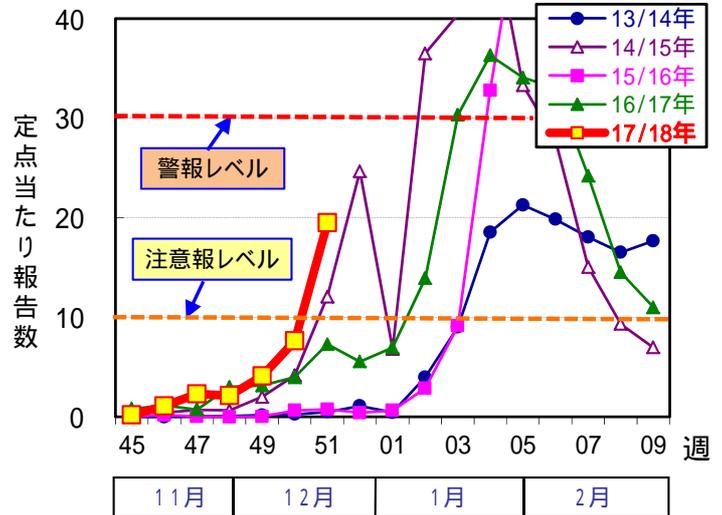
**2. つつが虫病**

5件の報告があり、今年の累計は20件(第46週から6週間での報告は19件)となりました。

**3. 梅毒**

3件の報告があり、今年の累計は61件となりました。(次頁参照)

**インフルエンザの流行状況**



**定点把握感染症報告状況(週報対象)**

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
												↑	↓	
小児科	インフルエンザ	721	19.49	4.44	↑	小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.82		↑	↓	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
	咽頭結膜熱	6	0.25	0.54		眼科	RSウイルス感染症	4	0.17	0.93	↓			前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	92	3.83	2.62		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05				ほとんど増減なし
	感染性胃腸炎	243	10.13	14.52		基幹	流行性角結膜炎	9	1.13	0.73				
	水痘	15	0.63	1.20		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-				
	手足口病	14	0.58	0.57		基幹	無菌性髄膜炎	2	0.29	0.03				
	伝染性紅斑	-	-	0.32		基幹	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.29				
	突発性発しん	5	0.21	0.49		基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-				
	百日咳	-	-	0.05		基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-				
	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.05		基幹								

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

**全数把握感染症報告状況**

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	135	女性(20歳代)・1人、女性(80歳代)・1人
4	つつが虫病	5	20	女性(50歳代)・1人、男性(60歳代)・1人、女性(60歳代)・1人、女性(70歳代)・1人、女性(80歳代)・1人
4	レジオネラ症	1	23	男性(60歳代)
5	梅毒	3	61	男性(20歳代)・1人、男性(40歳代)・1人、男性(70歳代)・1人

## 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎
報告数	広島市	85	13	78	147	15	14	1	5	1	-	3	5	-	5	-	-	1	-	-	-
	第48週	79	17	91	158	10	23	1	10	-	1	1	17	-	5	-	-	-	-	-	-
	第49週	152	12	67	206	11	9	2	11	-	2	2	13	-	6	-	-	1	-	-	-
	第50週	282	11	67	270	19	21	-	5	1	-	1	19	-	6	-	1	-	-	-	-
	第51週	721	6	92	243	15	14	-	5	-	1	-	4	-	9	-	2	-	-	-	-
定点当たり	広島市	2.30	0.54	3.25	6.13	0.63	0.58	0.04	0.21	0.04	-	0.13	0.21	-	0.63	-	-	0.14	-	-	-
	第48週	2.14	0.71	3.79	6.58	0.42	0.96	0.04	0.42	-	0.04	0.04	0.71	-	0.63	-	-	-	-	-	-
	第49週	4.11	0.50	2.79	8.58	0.46	0.38	0.08	0.46	-	0.08	0.08	0.54	-	0.75	-	-	0.14	-	-	-
	第50週	7.62	0.46	2.79	11.25	0.79	0.88	-	0.21	0.04	-	0.04	0.79	-	0.75	-	0.14	-	-	-	-
	第51週	19.49	0.25	3.83	10.13	0.63	0.58	-	0.21	-	0.04	-	0.17	-	1.13	-	0.29	-	-	-	-
全国	第49週	4.06	0.82	3.07	7.81	0.51	0.94	0.08	0.43	0.01	0.11	0.29	0.78	0.01	0.85	0.02	0.02	0.37	0.01	0.03	0.03
	第50週	7.40	0.85	3.20	8.65	0.67	0.81	0.09	0.43	0.01	0.09	0.28	0.72	0.02	0.85	0.01	0.03	0.37	0.01	0.03	0.03

## 新たに判明した病原体検出状況

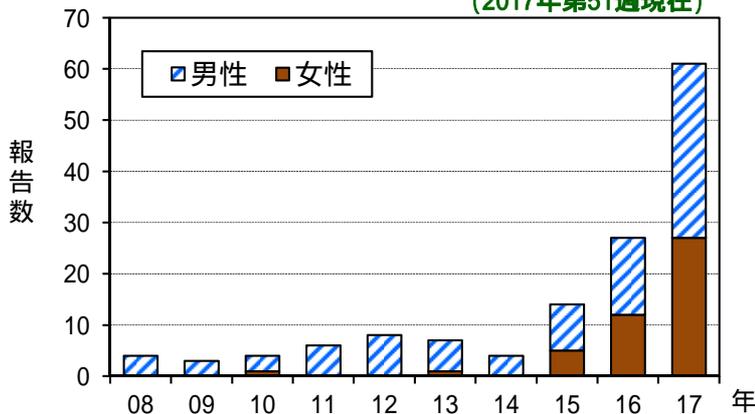
(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
流行性角結膜炎	結膜炎 結膜充血 結膜浮腫 眼瞼浮腫	23	女	2017/11/13	結膜擦過物	アデノウイルス3型
無菌性髄膜炎	発熱(38.7) 髄膜炎	0	女	2017/11/13	髄液	エコーウイルス7型

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

## 【参考】広島市における梅毒の発生動向について

梅毒の年間報告数の推移(広島市)  
(2017年第51週現在)



広島市では2015年以降、梅毒の報告数が増加しており、今年はずでに61件(男性34件、女性27件)報告されています。

梅毒は、性的な接触(感染部位と粘膜や皮膚の直接接触)により感染します。感染後は、感染部位にしこりができたり、リンパ節が腫れたり、全身に「バラ疹」と呼ばれる赤い発疹が出たり、様々な症状が現れます。なお、症状が軽快しても、治療をしない限り完治はしません。

感染が疑われる症状が見られた場合には、早めに医療機関を受診しましょう。また、感染拡大を防ぐため、周囲で感染の可能性のある方(パートナー等)も検査を行い、一緒に治療することが重要です。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。  
URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

### 【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号  
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail [ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp](mailto:ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp)

2017年第51週(12月18日~12月24日)